

第45期中間報告書

平成21年4月1日から平成21年9月30日まで

45 INTERIM REPORT

Good luck. Good life.

SANKYO

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。第45期中間報告書をお届けするにあたり、ここにご挨拶を申し上げます。

当社グループは、健全なレジャーの発展と心豊かな社会づくりに貢献するため、パチンコ・パチスロ業界のリーディングカンパニーとしての使命を果たすことを基本理念としております。財務の健全性を維持しながら、商品力・販売力強化のための優良キャラクター・コンテンツの獲得やアライアンス、各種プロモーションなどに積極的に経営資源を投入し、更なる成長を目指します。本年6月には、93億円を投じた新研究開発棟（東京都渋谷区）が竣工し、開発環境の更なる充実を図るなど、厳しい経営環境の中でも攻めの経営を展開しております。

エンターテインメント性の追求により、遊技機の企画から販売までのプロセス長期化、開発・プロモーション費用の増加などプロジェクトが大型化の傾向にあり、収益拡大策の一方で、リスクコントロールも重要な経営課題となっております。このような状況に対処し、攻めと守りのバランスの取れた経営体制を構築するため、平成20年4月以降、CEO・COOの2トップ体制、執行役員制度の導入により、経営意思決定の迅速化と、コーポレート・ガバナンスの強化を図っております。

前年度は商品戦略・販売戦略の再構築を優先して販売スケジュールを変更したため、減収減益の不本意な結果に終わりましたが、本年度は、従来以上に知名度が高いコンテンツを活用した商品ラインナップの充実などにより、順調に折り返し地点を迎えることができました。事業の特性上、ヒット商品の投入のタイミングで業績は大きく変動することはありますが、目先の売上・利益だけにとらわれず、中・長期的な視点から安定的な利益成長と企業価値の向上を図ることが株主の皆さまをはじめとするステークホルダーの皆さまに対するわれわれの使命であると考え、今後も利益の最大化と最適な配分を図ってまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともなお一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長 毒島 秀行

代表取締役社長 澤井 明彦



代表取締役会長(CEO)
毒島 秀行



代表取締役社長(COO)
澤井 明彦

Contents

- 株主の皆さまへ……………1P
- 営業概況……………2P
- 四半期連結財務諸表……………3P
- トピックス……………5P
- 会社情報……………6P

当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)における 当社グループの営業概況についてご報告いたします。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、在庫調整の進展や、政策効果による一部個人消費の回復などから最悪期を脱し、持ち直しの動きも見られますが、雇用・所得環境は引き続き厳しい状況が続いております。

当パチンコ・パチスロ業界におきましては、パチンコパーラーの新たな営業形態として登場した低貸玉営業の人気などにより、長期減少傾向にあったパチンコファン人口に下げ止まりの動きも見え始めました。一方、遊技機メーカーからは、パーラーの多様な営業形態やパチンコファンのニーズに対応すべく、大当りに至る過程などプログラミング設計の工夫、著名コンテンツとのタイアップによるストーリー性の追求など、エンターテインメント性を高めた商品の投入が相次いでおります。また、パチスロ機の設置台数が依然として減少傾向にあり、需要が低迷している一方で、比較的需要が堅調なパチンコ機で有力タイトルの投入が集中しており、メーカー間の開発・販売競争は熾烈を極めております。

当社グループにおきましては、平成19年以降「著名コンテンツとのタイアップ」、「積極的なプロモーション展開」、「ゲーム性、液晶演出等の作り込み強化」に戦略的に取り組んでまいりましたが、更なる商品開発力の強化を図るため、平成21年6月、複数箇所に分散していた研究開発部門を新研究開発棟(東京都渋谷区)に集約いたしました。開発環境の充実により、ファンの視点に立った商品開発や、キャラクター・コンテンツとスペックの両方を重視した商品開発を一段と強化しており、この12月より導入予定のパチンコ機「フィーバー 超時空要塞マクロス」では、『超体感パチンコ』と銘打ち、液晶画面上の視覚演出はもとより、『V-コントローラー』の操縦による参加型演出、更には「風」や「立体音響」による今までにない臨場感を実現しており、パチンコパーラー・ファンはもとより、アニメ業界や原作アニメファンからも大きな関心が寄せられております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、パチンコ機関連事業においてSANKYOブランド、Bistyブランドともに市場の注目度が高い大型商品を投入し、販売が好調に推移したことから、連結売上高1,423億円(前年同四半期比25.8%増)、連結営業利益390億円(同56.3%増)、連結経常利益410億円(同48.5%増)、連結四半期純利益247億円(同43.3%増)となりました。

●パチンコ機関連事業

パチンコ機関連事業につきましては、SANKYOブランドで4シリーズ、Bistyブランドで1シリーズの販売を行いました。Bistyブランドの

「新世紀エヴァンゲリオン～最後のシ者～」(平成21年4月)が、シリーズ過去最高の237千台の販売を記録した他、SANKYOブランドにおきましては、人気アーティストの倅田来未さんとのタイアップ第2弾「KODA KUMI FEVER LIVE IN HALL II」(平成21年7月)が、前作同様の高い評価をいただき、119千台を販売しました。また、人気アニメとのタイアップ「フィーバー 機動戦艦ナデシコ」(平成21年8月)につきましては、アニメファンが集う東京・秋葉原地区での先行導入による話題づくりや、スペック面での工夫をアピールし、スマッシュヒットとなりました。

この結果、売上高1,270億円(前年同四半期比68.4%増)、営業利益419億円(同101.4%増)、販売台数419千台となりました。

●パチスロ機関連事業

パチスロ機関連事業は、販売マーケットが低水準で推移しており、一握りのタイトルを除いては市場の関心が低く、大半の商品が小ロットでの販売を余儀なくされております。このような市場環境を鑑み、販売スケジュールの見直しを行い、パチンコ機の販売に経営資源を集中したことから、SANKYOブランド、Bistyブランドともに1シリーズの投入にとどまりました。この結果、売上高32億円(前年同四半期比88.7%減)、営業損失12億円となりました。

●補給機器関連事業

補給機器関連事業につきましては、売上高113億円(前年同四半期比36.6%増)、営業利益3億円(同87.6%増)となりました。

●その他の事業

その他の事業につきましては、売上高6億円(前年同四半期比15.9%減)、営業利益2億円(同10.5%減)となりました。



KODA KUMI FEVER LIVE IN HALL II



新世紀エヴァンゲリオン～最後のシ者～

©カラー ©カラー・GAINAX ©Bisty

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日現在)	科 目	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日現在)
●資産の部			●負債の部		
流動資産	326,384	361,665	流動負債	53,497	103,525
現金及び預金	169,923	162,510	支払手形及び買掛金	32,797	72,077
受取手形及び売掛金	48,564	40,027	未払法人税等	11,172	13,179
有価証券	88,004	89,999	賞与引当金	1,002	752
商品及び製品	1,374	22,319	その他	8,523	17,516
仕掛品	269	145	固定負債	5,392	5,154
原材料及び貯蔵品	2,331	3,694	役員退職慰労引当金	616	584
その他	16,275	43,392	退職給付引当金	2,843	2,683
貸倒引当金	△358	△425	その他	1,933	1,886
固定資産	136,227	133,201	負債合計	58,889	108,679
有形固定資産	51,489	49,892	●純資産の部		
無形固定資産	291	249	株主資本	403,055	385,582
投資その他の資産	84,445	83,059	資本金	14,840	14,840
投資有価証券	78,934	79,157	資本剰余金	23,881	23,882
その他	6,306	4,740	利益剰余金	373,277	355,800
貸倒引当金	△415	△459	自己株式	△8,943	△8,940
投資損失引当金	△379	△379	評価・換算差額等	666	604
資産合計	462,612	494,866	その他有価証券評価差額金	666	604
			純資産合計	403,722	386,187
			負債純資産合計	462,612	494,866

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)
売上高	142,330	113,120
売上原価	73,691	61,590
売上総利益	68,639	51,529
販売費及び一般管理費	29,622	26,563
営業利益	39,016	24,966
営業外収益	2,087	2,739
営業外費用	17	44
経常利益	41,086	27,661
特別利益	110	332
特別損失	357	118
税金等調整前四半期純利益	40,839	27,875
法人税、住民税及び事業税	11,205	9,793
法人税等調整額	4,922	835
四半期純利益	24,711	17,246

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

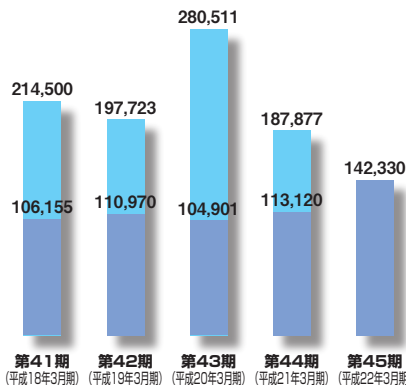
科 目	当第2四半期連結累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,039	△3,460
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,861	△556
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,277	△17,140
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,099	△21,157
現金及び現金同等物の期首残高	218,509	226,329
現金及び現金同等物の四半期末残高	217,409	205,171

決算ハイライト(連結) Financial Highlights

売上高

(単位：百万円)

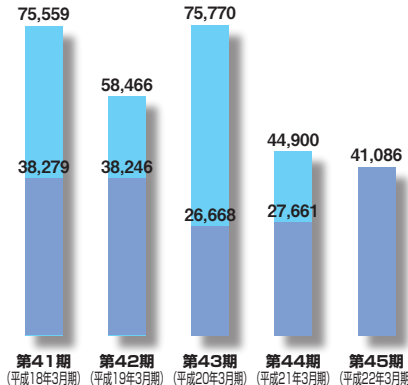
■ 通期 ■ 第2四半期累計



経常利益

(単位：百万円)

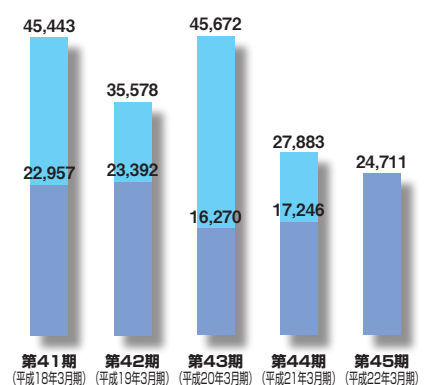
■ 通期 ■ 第2四半期累計



四半期(当期)純利益

(単位：百万円)

■ 通期 ■ 第2四半期累計



(注) 第44期から金融商品取引法に基づく四半期報告制度の導入により、便宜上第43期までの「中間」の表記を「第2四半期累計」に変更しております。

パチンコは新たなステージへ・・・ 超体感パチンコ「フィーバー超時空要塞マクロス」発進!!

「超時空要塞マクロス」は1982年のアニメ初公開以降、数々のシリーズを世に送り出し、2009年には新たな劇場版が公開されるなどその人気は衰えることを知りません。

当機種は、アニメ制作の最新CG技術をフル活用した映像表現や、原作アニメの戦闘機が変形するという斬新さを巨大ギミックの変形として再現するなど、アニメファンも納得する迫力満点の内容です。

更に新枠[V-TRIGGER]第1弾として多数の新機能を搭載しており、プレイヤーには戦闘機に搭乗しているような臨場感が体感いただけます。

また、プレイヤーの視点に立ったシンプルでわかりやすいゲーム内容としたことで、初心者にも安心して遊べる製品となっています。

「フィーバー超時空要塞マクロス」は12月上旬より全国パチンコパーラーへ順次導入される予定です。

発表展示会



本機のTVCMに出演しているモデルの陸守絵麻さん、アニメーション監督/ビジョンクリエイターの河森正治氏が駆けつけ会場のボルテージは最高潮



液晶演出



TVCM



操縦桿を想起させる『V-コントローラー』は、各種操作を始めシーンに合わせた振動、奥からは風が吹き出るなど、斬新かつ期待感高まる機能が目白押しとなっています。

©1982 ビックウエスト

●会社概要

- 商号 株式会社 SANKYO
(登記社名 株式会社 三 共)
- 本社 東京都渋谷区渋谷三丁目29番14号
- 設立 昭和41年4月
- 資本金 148億4千万円
- 従業員数 935名
- 主要な事業内容 遊技機の製造及び販売
自動補給装置等の設計施工及び販売
- 連結子会社 株式会社三共エクセル
株式会社ビステイ
株式会社三共クリエイト
インターナショナル・カード・システム
株式会社
- 持分法適用会社 日本ゲームカード株式会社
フィールズ株式会社

●役員

名誉会長	毒島邦雄
代表取締役会長 CEO (最高経営責任者)	毒島秀行
代表取締役社長 COO (最高執行責任者)	澤井明彦
取締役専務執行役員 管理本部長 兼 経理部長 兼 経営企画部長	筒井公久
取締役専務執行役員 営業本部長	濱口順三
常勤監査役	鵜川詔八
監査役	石山俊明
社外監査役	真田芳郎
社外監査役	野田典義
常務執行役員 営業本部副本部長 兼 本店営業部統括部長	鈴木康司
執行役員 製造本部長 兼 三和工場長	瀧本淳子
執行役員 営業本部九州ブロック長 兼 福岡支店長	鈴木秋義
執行役員 営業本部 営業企画部長	石原明彦
執行役員 商品本部長	瀬瀬 聡
執行役員 営業本部副本部長 兼 近畿ブロック長 兼 大阪支店長	富山一郎
執行役員 営業本部 パーラー事業部長	吉川 実
執行役員 営業本部 パチスロ事業部長	小田部 利得

●株式の状況

発行可能株式総数	144,000,000株
発行済株式総数	97,597,500株
単元株式数	100株
株主数	11,679名
総株主の議決権数	961,445個

●大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
有限会社マーフコーポレーション	15,050	15.42
有限会社群馬創工	14,196	14.54
毒島邦雄	7,089	7.26
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	3,577	3.66
毒島秀行	3,075	3.15
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,033	3.10
赤石典子	2,533	2.59
毒島章子	2,533	2.59
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	1,869	1.91
Xロソバンクイービーエヌアムログローバルカスティエヌイ	1,428	1.46

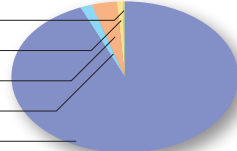
(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

2. 出資比率は平成21年9月30日現在の発行済株式総数に対する比率であり、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

●株式分布状況

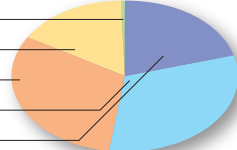
株主数構成比

証券会社等	31名	0.27%
金融機関	67名	0.57%
外国法人等	434名	3.72%
国内法人	179名	1.53%
個人・その他	10,968名	93.91%



所有者別株式分布

証券会社等	280千株	0.29%
金融機関	15,694千株	16.08%
外国法人等	30,459千株	31.21%
国内法人	30,881千株	31.64%
個人・その他	20,280千株	20.78%



株 主 メ モ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日
定時株主総会 毎年3月31日
期末配当
中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(郵便物送付先) 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同取次窓口 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
単元株式数 100株
公告方法 電子公告の方法により行います。
公告掲載URL <http://www.sankyo-fever.co.jp/koukoku.html>
なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行うものとします。
上場証券取引所 東京証券取引所 市場第1部

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

配当金の受取方法について

株券の電子化に伴い、配当金をお受取りになる方法として、株主さまが保有する全ての銘柄の配当金を同一の預金口座で受領することができる「登録配当金受領口座方式」、株主さまが口座をお持ちの証券会社等を通じて配当金のお受取りができる「株式数比例配分方式※」をご選択いただけるようになりました。(従来どおり、「配当金領収証」「個別銘柄指定方式」でお受取りいただくこともできます。)

現在「配当金領収証」での受取りを選択されている株主さまにつきましては、确实、迅速に配当金をお受取りいただくためにも、口座振込でのお受取りをお勧めいたします。

受取方法変更の手続きにつきましてはお取引の証券会社へお問い合わせください。特別口座で株式を保有されている株主さまにつきましては特別口座の口座管理機関(中央三井信託銀行株式会社)へお問い合わせください。

※特別口座に記録された株式をご所有の株主さま、または、口座を開設している証券会社が「株式数比例配分方式」を取り扱っていない場合は配当金の受取方法として「株式数比例配分方式」はお選びいただけません。

株式会社 SANKYO

本 社：東京都渋谷区渋谷三丁目29番14号 TEL. (03) 5778-7777 (代表)

<http://www.sankyo-fever.co.jp/>



本報告書は、環境保全のため、大豆油インクで印刷しています。

証券コード：6417